



第4号

# こまがた元気会だより



今回は、喜多方市協働のまちづくり推進事業の支援をいただき、こまがた元気会の中に作業部会を設けて策定作業を進めております「こまがた元気ビジョン」の素案がまとまりましたので、その概要（骨子）をお知らせします！皆様のご意見をいただき、令和3年2月末には完成させる予定です。

## ～こまがた元気ビジョンの素案(骨子)～

### 第一章 策定の趣旨

駒形地区の現状と課題を踏まえ、自分たちの住んでいる地域について、将来にわたって自らの力で守り創り上げていくための目標や基本方針を定めた計画であり、元気な駒形の里を創っていく上での総合的な指針となるものです。

計画の期間は、令和3年から令和5年までの当面3年としています。（※この期間に、事業等を全て実施するというものではなく、将来に繋げる事業等の芽を出す期間とも言えます。）

### 第二章 駒形地区の現状

今後の取組の礎にするため、駒形地区の長い歴史と先人たちの弛まぬ努力により培われてきた伝統・文化等の地域資源をまとめています。

産業・特産物、遺跡や神社・寺院・芸能、狐堰・駒形堰当の産業遺産、ゆかりの人物、自然等

### 第三章 駒形地区の課題

令和2年8月から10月の3回にわたって実施した住民ワークショップ等から出された駒形地区の課題をまとめています。

農業後継者・担い手不足、集落の共同作業の維持困難、耕作放棄地・鳥獣被害・空き家の増加、高齢者等の移動・除雪・悩み事と見守り、子ども・若者の減少による活力の低下、住民同士・世代間の交流の場づくり等

### 第四章 駒形地区の課題

駒形地区の現状と課題から、駒形地区の目指すべき将来像を次のように設定します。

#### 住みよく元気な「こまがた」の創造～田舎暮らしはステータス～

この将来像には、文字通り暮らしやすく、活気にあふれる駒形の里を、私たち一人ひとりが誇りを持って創っていくという思いが込められています。

令和2年12月24日 発行：こまがた元気会

《連絡先》喜多方市塩川町中屋沢字竹の花1372-1 電話/FAX 0241-27-8515

E-mail:k.kom@city.kitakata.fukushima.jp

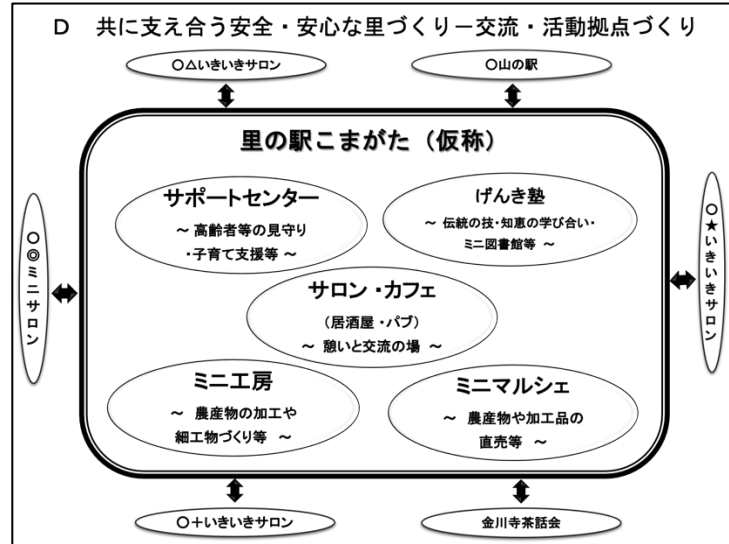
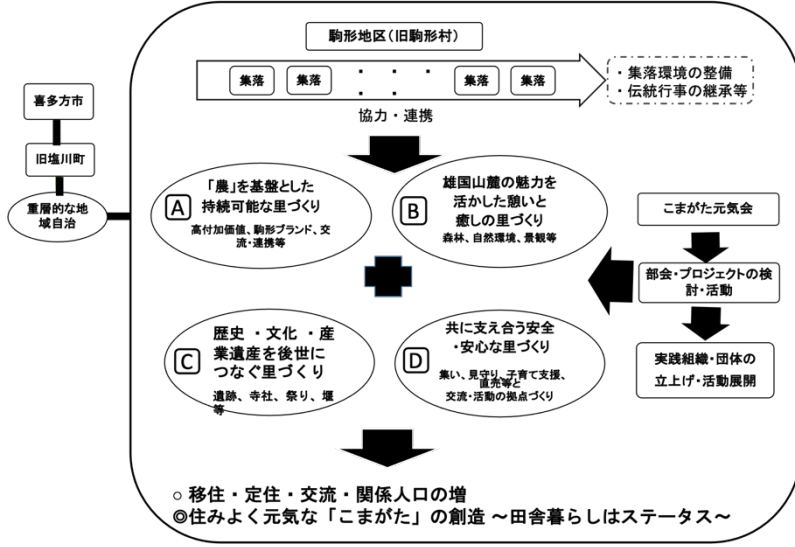
《編集協力》NPO 法人かけはし（代表理事 石島 来太）喜多方市常盤町5004-1

# 元気な駒形の里づくりグランドデザイン

駒形地区の課題に対応し、将来像を実現するために、4本の重点的な取組分野と総合的な取組構想「元気な駒形の里づくり」グランドデザインを左の図の通りとしました。

特に、「D」の共に支え合う安全・安心な里づくりでは、地区全体としての交流・活動の拠点づくりを次のようにイメージしています。

「元気な駒形の里づくり」グランドデザイン



※この拠点施設として、JA旧店舗の使用を検討・協議中です。

## 第五章 具体的な取組

重点的な取組分野	取組（事業・活動）案（これまで提案のあった一例です）	
	すぐにでも取りかかれるもの （まずできることから！）	長期的に取り組むもの（夢は大きく！）
<b>A</b> 「農」を基盤とした持続可能な里づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>ミニ直売所の開設</li> <li>農村環境整備（草刈り等）等に関する検討会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>駒形そばの食事処の開設</li> <li>クラインガルテン（簡易宿泊施設付き市民農園）の開設</li> </ul>
<b>B</b> 雄国山麓の魅力を活かした憩いと癒しの里づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>「駒形八景」等の選定</li> <li>狐堰・駒形堰等ウォーク</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>旧登山道の復活・整備</li> <li>桜並木等の整備</li> </ul>
<b>C</b> 歴史・文化・産業遺産を後世につなぐ里づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>伝統の技を継ぐ学習会</li> <li>ガイドマップ・パンフ等作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>会津三十三観巡り関連事業</li> <li>埋蔵文化財センターの開設</li> </ul>
<b>D</b> 共に支え合う安全・安心な里づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>地区の交流・活動拠点（里の駅）の整備</li> <li>集落等身近なところへの交流サロンづくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>里の駅を拠点とした事業の順次拡大</li> <li>おでかけワゴン（バス）の運行</li> </ul>

※取組（事業・活動）は、地区が主体的に行うもの、行政にお願いするもの、企業等の取組に期待するものなどが想定されます。

## ご意見募集！

ここまがた元気ビジョンに関して、何か御意見があれば表記事務局（集落支援員 大平）へFAXやメール等で令和3年1月15日（金）までお寄せください。全般的なこと、将来像に関すること、重点的な取組分野に関すること、具体的な取組に関することなどなんでも結構です。